

## 平成28年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

### 行政報告

本日は、平成28年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

皆さまご承知のとおり、リオで開催されたオリンピックでは、日本人選手の活躍によって多くの感動をいただくことができました。間もなく開催されるパラリンピックにおいても、国籍を超えた友情やフェアプレーが我々を感動させてくれるものと確信しています。

そして、いよいよ4年後は東京での開催です。オリンピック・パラリンピックは、スポーツの祭典であるのみならず、文化の祭典でもあります。日本の伝統文化を世界に発信し、観光にも結び付けることができる貴重な機会でもあります。本市も今後そのような市のスポーツ・文化の振興や観光施策の推進の可能性を模索しながら東京オリンピック・パラリンピックへの関わり方を研究していきたいと思えます。

現在本市に関連した案件として、二つの世界遺産の登録に向けた動きが起きています。一つは、朝鮮通信使を世界記憶遺産に登録しようというもので、既にNPO法人朝鮮通信使縁地連絡協議会を通じて韓国の財団法人釜山文化財団とともに申請を行っています。この登録を強力に推進するため、縁地連絡協議会の会員とともにパリのユネスコ本部を訪問し、レセプション等のPR活動を展開する所存です。

また、長島愛生園、邑久光明園を中心としたハンセン病療養所を世界遺産に登録する動きについては、その実現可能性をさらに見極め、地元の皆

さまと対話を重ねながら、まずは国の登録有形文化財への登録を模索し、平成21年4月に施行したハンセン病問題の解決の促進に関する法律に定められた、歴史的建造物の保存等ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発その他必要な措置を講ずるための取り組みを国に促していく所存です。

議会の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以上申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

#### 総務部関係

##### ○ 旧玉津小学校跡地利活用について

平成25年3月をもって閉校となった玉津小学校については、玉津小学校統廃合準備委員会からの要望に基づき、地域雇用の創出及び地域の活性化を目的とし、今年3月18日から6月30日まで事業者からの企画提案募集を行いました。その結果、1事業者から企画提案書の提出があり、地域代表者、学識経験者、職員で構成する「旧玉津小学校跡地利活用プロポーザル審査委員会」において審査した結果、企画提案内容は適当との評価をいただき、当該事業者を事業実施候補者に特定しました。事業内容は、平成30年度に専門学校と日本語学校を開設し、平成32年度に専門職業大学の設立を目指すこととなっています。

この施設の使用貸借に関して、今議会に市有財産の貸付料の減額についての議案を提出していますので、よろしく申し上げます。

#### 総合政策部関係

○ 瀬戸内市地域公共交通網形成計画に基づく取り組みの進ちょく状況について

去る7月27日に今年度第1回目の瀬戸内市地域公共交通会議を開催しました。

会議では、瀬戸内市地域公共交通網形成計画中来年度から取り組むとしている「タクシー活用制度の構築」について、ご協議いただきました。

事務局側からは、交通不便地域にお住まいの高齢者に限って「タクシー利用券」をお配りし、「利用目的に制限は設けないこと」などの具体的な制度内容の案についてご説明したところ、公共交通としての施策に年齢制限を設けることの問題や制度の導入目的を「既存の路線バスへの乗り継ぎ」とするのか「地域内移動」とするのかという点などについてご意見をいただきました。

市としては、自家用車等での移動が困難な市民を中心に、身近な移動手段を望むご意見をいただいております、できるだけ早急に新しい公共交通の導入を実現させたいところですが、導入する以上は多くの方にご利用いただける持続可能な制度の構築が必要不可欠と考えています。

そのため、今回の交通会議でいただいたご意見はもとより、市民の皆さまや議員の皆さまからも制度導入に当たっての現実的な疑問やご意見をいただきながら、引き続き検討を重ねていきたいと考えています。

## 保健福祉部関係

○ 子育て広場づくりプロジェクトについて

今年度、少子化対策重点推進交付金を活用し、「瀬戸内市民がつくる日本一の子育て広場づくりプロジェクト業務」を実施しています。

この事業は、既存の公園や施設で、子育て支援活動に自主的に関わる市民を増やすとともに、子育て世代のつながりを強めていくことで「安心して子どもを産み、育てることができる地域づくり・人づくり」の基盤をつくることを目的としています。

現在、子育てのボランティアや親子クラブの役員などで構成した子育て広場推進協議会を設置し、子育て広場を活用した子育て支援体制の充実を図るために必要な企画等について協議しています。

また、実践活動として、子どもがいきいきと遊ぶことができる環境をつくることを目的として活動している「プレーリーダー」の協力のもと、8月3日に子育て支援センターにおいて親子体験型ワークショップを開催し、参加者のご意見をお聞きしました。

さらに、市民の参画・協力によるワークショップやセミナーの開催、インタビュー調査や子育て中の保護者へのアンケート調査等を行い、子育て広場についてのニーズや課題などの分析を行う予定としています。

今後、これらの調査結果等を踏まえて子育て広場の指針となる基本構想を策定し、「安心して子育てができるまち」の実現に向け、努力していきます。

## 上下水道部関係

### ○ 上水道事業について

福山浄水場施設更新整備事業については、「公募型プロポーザル方式」で事業者選定を行うため、事業者選定審査委員会を立ち上げ第1回の会議を5月24日に開催しました。その会議では、公募型プロポーザル応募に関する条件、審査及び事業者選定に関する事項等を定めた実施方針について

協議をいただき、6月14日にその実施方針をホームページで公表しました。7月15日に開催した第2回会議においては、詳細な募集要項や当事業に求められる機能等を示した要求水準書等について協議をいただき、8月9日に公募型プロポーザルの手続き開始について、ホームページで公表を行いました。

今後の予定として、参加希望業者に対して説明会、現地見学会を実施し9月に参加表明書及び資格確認申請書の受付、11月に事業者選定審査委員会を開催し、参加事業者からプレゼンテーションを求め、最優秀提案者を選定します。そして、12月に事業者を決定し契約締結を行う予定としています。

## 病院事業部関係

### ○ 新病院について

新病院については、6月末に完成し、建築基準法等の各法令に基づく検査後、MRI等の医療機器や什器備品等の設置を行っています。

今後の予定としては、9月18日に竣工式及び内覧会を開催し、市議会をはじめとした関係機関の皆さまや市民の皆さまに新病院の機能や設備等をご覧いただきたいと考えています。

移転作業については、9月30日の午後から外来診療を休診とさせていただきます、現病院から移設する機器等を移転します。また、10月1日に患者の移送や電子カルテへのデータ移行等を行い、翌2日に各種機器やシステムの最終作動確認後、3日、月曜日から新病院での外来診療を開始します。

入院患者及び外来患者の皆さま、近隣の住民の方々にできる限りご不便、

ご迷惑をお掛けすることのないよう、慎重に移転作業を進めていきます。

## 消防本部関係

### ○ 上半期の火災救急概況について

まず、火災の状況ですが、本年1月から6月末までの上半期の火災件数は12件で、前年同期より4件増加しています。

火災種別で見ると、建物火災7件、林野火災1件、その他の火災4件となっています。特に建物火災が多く発生しているため、市民の方への防火指導・広報活動により予防啓発に努めているところです。

次に、救急の状況ですが、出動件数は738件で、前年同期より47件の減少となっています。

事故種別では急病が490件で66.4%、年齢別では65歳以上の方が460人で64.8%、程度別では軽症が260件で36.6%であり、急病・高齢者・軽症者が依然高い割合となっています。このことから、救急車の適正利用、高齢者の転倒・転落事故を防ぐため「予防救急」の普及啓発を継続し、救急件数の抑制に努めていきます。

また、熱中症の搬送状況ですが、8月15日までに45人を搬送しており、前年同期より11人の増加となっています。

### ○ 救急医療情報システムの更新について

救急業務での受入病院の選定方法として、岡山県救急医療情報システムを利用し、通信指令室において朝夕2回、県南東部地域の2次、3次病院の収容可能状況をチェックしていますが、このたび、リアルタイムで登録医療機関の受入れの可否状況が確認できる新しいシステムが出来上がり、

9月末から運用開始する予定となり、県よりタブレット端末1台が貸与されることとなりました。

消防本部は、本署の救急車に積載し、運用していきたいと考えています。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例2件、補正予算10件、その他16件、計28件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

平成28年8月31日

瀬戸内市長 武久 顕也